

学校だより 三和中シュワッチ!



校長 宮里直哉

三和中学校184

7月5日(水)、市農村環境改善センターで 第38回系満市少年の主張大会がありました

平和ガイドを通して語り継ぐこと 3年 A

2022年2月、ロシアがウクライナに対して兵器を使用し、攻撃し始めたことを、皆さんも知っていると思います。私自身も、この今の時代に戦争が起こるなんて、とても驚きました。なぜなら、私たちの周りは、とても平和だからです。何事もなく部活で友人と目標に向けて汗を流したり、学校で授業が毎日あり、課題に追われたりなど、平和だから当たり前のことかできています。

そして、数か月がたったある日、たまたま学校の先生に

「系満市が行っている平和ガイド育成事業っていうのがあるんだけどやってみない？」

と声をかけられました。私は、先ほど述べたロシアとウクライナの戦争のこともあり、戦争はあってはならない、小学校から今まで毎年勉強してきたはずなのに、自分の口で伝えられていない、平和の大切さをいろいろな人たちに伝えたい、と強く感じ、参加することに決めました。

平和ガイド研修の最終目標は、平和の礎をガイドすることです。そのために、まず、講演を聞き、映像を鑑賞し、沖縄戦の始まりから犠牲者の数、流れを調べました。次に、戦争体験者の証言も聞きました。そして、ひめゆりの塔の見学に行きました。そこでは、ひめゆり学徒の方々の顔写真の下に、性格や趣味などが書かれていました。私と同じくらいの少女たちのことが書かれており、読んでいてとても悲しい気持ちになりました。また、平和祈念公園内にあるいろいろな慰霊碑や塔を案内していただきました。このように、沖縄戦の悲惨さや恐ろしさを改めて強く感じ、知識が深まり、私も沖縄戦について伝えられるようになりたいという想いがさらに強くなりました。

そうした中、成果発表に向けて原稿作りがはじまります。私は平和の礎についての発表のために、本や資料、今までに学んできたことをフルに使い、自分が平和の礎について伝えたいこと、平和の礎を通して伝えたい戦争や平和についてのことを、自分の言葉で考えまとめていきました。そしてリハーサルを何度も行い、話し方や手の指し方、文の表現の仕方をプロのガイドの方に教わり、言葉の一語一語を大切に、戦争で犠牲になられた方の想いが相手の心の残るように、表現を何度も練り直し、完成させました。ついに迎えた本番。私は、約半年間で深まった想いを、一生懸命考えた平和の礎についてのガイドを通して伝えることができました。

私は、成果発表の本番の日に来てくださっていた体験者の

「今いるここも、あの時はさとうきび畑で、地面はボコボコ。海の方を見るとアメリカの軍艦で真っ黒だった。あの崖から飛び降りる人も見た。」

という実体験の言葉と想いを初めて生で聞いて、少し想像してみてもすぐ鳥肌が立ちました。私は、戦後78年がたち、体験者の高齢化が進み、語り継げる人が減っていく中、今回直接うかがえたこの話も含め「そうなんだ。」とそのまま終わりにするのではなく、これらの事実をしっかりと残り、誰かに伝えることでその人の心に残る、それをまた誰かに伝えるということを繰り返すことで多くの人が平和の尊さに気づける、と感じました。だからこそまずは私が言葉で伝えなければならないと気づくことができました。

今年も平和ガイド研修に参加し、どんどん知識を増やし深め、体験者の想いがより伝わり相手の心に残るように伝えられるようになりたいです。私と同年代の語り部を増やし、友達との会話の中でも、戦争は絶対にだめ、平和は大切、平和はみんなですべて創ることができる、と話せるようになりたいです。

世界中の人々が笑って暮らせる、平和な世の中を実現するために。

わくにとらわれないで 1年 B

裏面に続く

皆さんは、LGBTという言葉を知っていますか？LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった言葉です。LGBTという言葉が世の中になかったときには、法律的や社会的に割り当てられた性別を生きていくことが当たり前のように考えられていました。しかし、LGBTという言葉ができて性のあり方は男性、女性という二通り以外にも多様であるという考え方が広がっていきました。体の性別、自分が思う性別、好きになる性別、表現する性別など組み合わせによって一人ひとり性のあり方は異なるそうです。

幼いころから仲良しの友達があります。その子は、LGBTには当てはまりませんがショートヘアに、スカートが好きじゃないという理由から、男子制服を選び、今年ズボンで中学校へ入学しました。新しいクラスに行くと、男子制服の身なりから、先生に「君は男か？女か？」と聞かれ、すぐに答えら

れずにいると、「ズボンだから男だな。」と決めつけ「男なら力があるから、教科書を配ってくれないか？」と重い教科書を渡され、嫌な気持ちになりながらも仕方なく、みんなに配ったと話してくれました。

また、その子の学校は、制服にネームがないので名前でも判断されず、どう自分を伝えればいいのかとまどったそうです。男とまちがわれたので、多目的トイレに入りたかったそうですが、新一年生はまだ、校舎に慣れないため近くのトイレを使うように指示されたために男性の身なりで、女子トイレに入るべきか、男子トイレに入るべきなのかわからなくなり、その日一日はトイレをがまんして家に帰ってきたそうです。男子にまちがわれ、周りからは、LGBTなんじゃないかと思われているのがすごく嫌で楽しみにしていた学校生活がもう嫌になったと悩みを話してくれました。

悩みを聞いて、LGBTという言葉が世の中にしんとうして過ごしやすくなった人たちがいる反面LGBTという言葉にしばられて悩んだり、苦しんだりしている人がいることも知ってほしいと思いました。

性が多様であるという考えのように、制服も多様化するべきではないかと思います。制服が二通りしかないために、ズボンを選んだ友達は、男子というわくにいられてしまいました。どんな性でも着られる制服があれば問題はなくなると思います。

そこで、私が考えたのはかりゆしウェアです。大人は男女関係なく冠婚葬祭や仕事でかりゆしウェアを着ています。制服をかりゆしウェアにすることで色や形、デザインなど自分の好きな服が着られて男女関係なく自分を楽しく表現できると思います。

人は誰でも自分に自信がないと周りに合わせて目立たないようにしてしまうと思います。一人ひとりが自由に表現して自分を楽しむことができれば、LGBTの人だけでなく、LGBTという言葉で苦しんでいる人たちも過ごしやすい世の中になると思います。

相談されることがなければ、私も勝手な思い込みで誰かを傷つける側になっていたと思います。これからは、そうならないように、「わくにとらわれない考え方」を大切に私自身も、自分を楽しく表現していきたいと思います。

Aさん、Bさん、優良賞受賞おめでとうございます！



写真左から A さん、応援の C さん (3 年)、D さん (1 年)、E さん (1 年)、B さん

大会の日、全体朝会で全校生徒を目の前にしてリハーサルを兼ねて発表してもらいました。発表が始まると全生徒が、水を打ったように静かになり、彼女たちの発表に集中していました。暑い中微動だにしない生徒の皆さんの姿に、話し手と聞き手が一体となったすばらしい時間の流れを感じました。それだけ、胸を打つ見事な発表でした。

3年のAさんは、2年生から取り組んでいる平和ガイドを通して思ったことを素直な言葉で聴く人の心に染み入るように語りかける、感動的な発表でした。1年生のBさんは、LGBTについて友達との会話から思ったことを表情豊かに表現し観るものをひきつける、もっと聞きたくなるような発表でした。どちらも最高でした。

人前で自分の考えを発表するという事は、大変勇気のいることです。「こんなこと言ったらみんなどう思うんだろう」・・・それでも自分の想いを何とか伝えようと何度も原稿を書き直し、発表の練習をして舞台上で堂々と発表しました。生徒の皆さん、一般の聴衆の皆さんも、二人の真剣な気持ちが伝わり集中して聞いてくれたのだと思います。Aさん、Bさん、大変有意義な時間をありがとうございました。



“届けよう、服のチカラプロジェクト”出張授業がありました

7日(金)本校全生徒と真壁小6年生、喜屋武小5,6年生、米須小5,6年生が参加してファーストリテイリング(ユニクロ・GUの親会社の)平田順士さんによる授業がありました。

“服のチカラプロジェクト”とはファーストリテイリングがUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに取り組む、小中高校生が対象の参加型学習プログラムです。社員による出張授業を受けたのち、子ども達が主体となって校内や地域で着なくなった子供服を回収します。回収した服は、難民等の服を必要とする人々に届けられます。

①ユニクロ・GUの紹介②服が持つ「チカラ」とは？③難民ってどんな人？④みなさんと達成したいこと、のお話がありました。服の持つ「チカラ」では、服には「生命」を守る(保健衛生的機能)、「信じる」気持ち(心理的機能)、「つながり」を大切にする(社会的機能)というチカラがあることを例を挙げて話をされました。伝統ある制服に身を包んだ三和中生の真剣に話を聞く様子には、誇りや一体感が見られ、改めて服の大切さを感じる機会にもなりました。保護者・地域の方々に、このプロジェクトを通して得られる、SDGsの実践、難民の子ども達への支援、生徒の主体的な活動の促進、小中学校の連携強化、地域の活性化の成功へ向けて、ご賛同いただければ幸いです。二学期から、生徒会や児童会を中心に各ご家庭や地域の方々に呼びかけすることになりますが、趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

